

やりがいのあるロータリークラブ
活動を実践しよう！

第2121回例会 令和4年9月12日

本日の例会プログラム 第2122回例会 令和4年9月26日

- 新会員卓話 柳田 勝人 会員
 笹栗 康 会員

会長挨拶



皆さんこんばんは。
観月会へのご参加ありがとうございます。せっかくの観月会ですので、観月についてご存じの方も多いとは思いますが、私自身知らないこともありましたのでせっかくなので、少し由来を調べてまいりました。

月を見る風習については先週王さんがおっしゃっていましたが、中国に伝わる「中秋節」が起源とされ、商(殷)の時代(紀元前1600~1046)に生まれたもので3000年の歴史を持っています、この3000年前の日本というと縄文時代になり、狩猟採集生活であり稻作も伝わっていない時になります。

秋の十五夜を別名、中秋の名月と言いますが、旧暦(太陰暦)の8月15日をさし、現在で言うと9月中旬から10月上旬に該当し、今年は10日の土曜日がそれにあたりました。

日本に伝わったのは平安時代で、風雅を楽しむ行事として、貴族の間で広がっていったようです。ここにいらっしゃる方のご先祖様が平安時代から楽しんでいらっしゃったかたもいるとは思いますが、庶民へ広がりを見せたのは江戸時代で、特に農家にとっての大切なお祝い事になり、収穫の無事を月に感謝し、団子、芋、柿、栗などの味覚をお供えするようになったそうです。ある地方では「芋名月」と呼び里芋を供えるところもある

開地俊昭会長

9月の月間 ロータリーの友月間 基本的教育と識字率向上月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(51) 52名	マークアップ数	1名
本日欠席者数	18名	修正出席率	62.00%
本日出席者数	34名	マークアップされた方	大田寛子会員
出席率	66.67%		
ニコニコ BOX	0件 累計 18,000円	募金箱	0円 累計 41,972円

るそうで、月見団子が丸いのは、月の丸さと里芋の形に似せる説もあります。これが東北地方では「芋煮会」であり、京都では「里芋田楽」として秋の風物詩として現在への伝わっているという説もあります。なぜ芋なのかというと、当時の主食は米ではなく、里芋などが主食であった名残ということになります。

で一番知らなかったのが、十五夜が満月とは限らないということです。たまたま今年は満月に当たりましたが、毎年なるわけではないということです。

最後に月と言うと童話の世界でも「うさぎ」というイメージがある心清らかな人もいらっしゃると思いますが、この月にうさぎというのはインドから伝わったものであり、仏教説法の「シャータカ」でのお話で帝釈天に何も差し上げられなかつた、うさぎが自分を食べてもらおうと火の中に飛び込み、帝釈天がこのうさぎの行動を後世に伝えるために、月にうさぎを昇らせた話が伝わりました、合わせて、餅つきをうさぎがしている姿を想像されると思いますが、これは中国の伝説で、臼に薬草をいれ、きぬでついて不老不死の薬を作っている姿が日本に伝わるときに変わっていったのではないかと言われてるそうです。

と、とても浅いうんちくを言わせてもらいましたが、せっかくの観月会です。うんちく抜きにこの会を楽しみましょう。

観月会 (ガーデンテラス宮崎)



乾杯 小園隆司会員



締めの挨拶 戸高勝利会員